

「北九州水素ステーション」がオープン！ ～九州で「福岡水素タウン」に続き「水素ハイウェイ」を構築～

記者各位

当社(社長:西尾 進路)が、福岡県、岩谷産業株式会社(社長:牧野 明次)、新日本製鐵株式会社(社長:宗岡 正二)と共同で取り組む、福岡県北九州市の「北九州水素ステーション」が本日オープンしましたので、お知らせいたします。

福岡県と福岡水素エネルギー戦略会議※1は環境にやさしい水素エネルギー社会を世界に先駆けて実現するため、昨年度から「福岡水素戦略(Hy-Lifeプロジェクト)」を展開しています。今回、「福岡水素タウン※2」に続く社会実証事業 第二弾として、「水素ハイウェイ」が構築されました。

「水素ハイウェイ」とは、福岡～北九州間において、次世代自動車として期待される燃料電池自動車や水素エンジン車の実証走行を可能とするため、「北九州水素ステーション」および「九州大学水素ステーション」(福岡県福岡市、九州大学伊都キャンパス内)を整備したものです。

このうち「北九州水素ステーション」は、隣接する新日本製鐵八幡製鐵所から発生する副生水素※3をパイプラインで水素ステーションに供給し、高圧化して燃料電池自動車などに充填する日本初の取り組みであり、当社はステーションの運営を担当いたします。

開所式では、主催者を代表して、麻生 渡 福岡県知事、北橋 健治 北九州市長による燃料電池自動車への水素充填デモンストレーションが行われました。

当社は「公益信託ENEOS水素基金※4」の設立や「水素供給・利用技術研究組合※5」への参加など、水素社会の実現に向け積極的に取り組んでおります。本実証試験においても、そこから得られる様々なデータを蓄積することなどにより、将来の水素エネルギー社会、低炭素社会の実現を目指して取り組んでまいります。

※1… 福岡水素エネルギー戦略会議

水素の製造、輸送・貯蔵から利用までの一貫した研究開発や社会実証、全国唯一の人材育成などに取り組む全国最大の産学官連携組織(2004年9月発足)。2009年9月1日現在、552企業・機関が会員として参加。当社は幹事企業。

※2… 福岡水素タウン

当社の家庭用燃料電池「エネファーム」(LPガス仕様) 150台を簡易ガス団地に集中設置する、世界最大の水素エネルギーモデル都市。

* 事業実施者:福岡県、福岡水素エネルギー戦略会議、前原市、西部ガスエネルギー(株)、新日本石油(株)

* 事業実施場所:福岡県前原市 南風台(みなかぜだい)団地、美咲が丘団地

(福岡水素エネルギー戦略会議の「平成20年度実証活動支援事業」、新エネルギー財団(NEF)の「平成20年度定置用燃料電池大規模実証事業」の助成を受けて実施)

※3… 副生水素

製鉄所や苛性ソーダ工場などから副次的に得られる水素。安価で有効活用すべき水素供給方法として注目される。

※4… 公益信託ENEOS水素基金

水素エネルギー供給に関する、独創的かつ先導的な基礎研究助成に特化した公益基金。2006年3月に創設。

※5… 水素供給・利用技術研究組合

水素供給インフラ・燃料電池自動車の本格普及を目指した社会実証事業を推進する研究組合。

当社など民間13社(石油元売り、都市ガス等)が参加。当社は理事長を務める。

【北九州水素ステーションの概要】



運用	新日本石油株式会社、岩谷産業株式会社、新日本製鐵株式会社	
水素供給方式	製鐵所副生水素パイプライン	
圧縮設備	能力	45Nm ³ /hr
	圧力	吸入:0.75MPa、吐出:40MPa
蓄ガス設備	内容積	270L×6本、2バンク方式での充填
	最大圧力	40MPa
充填能力	連続3台、35MPa	
主要構成機器	水素受け入れユニット、圧縮機、蓄成ユニット、ディスプレイ	
特徴	水素パイプライン供給次世代型オフサイト水素ステーション	
所在地	福岡県北九州市八幡東区東田	

【開所式の概要】

1. 日 時：2009年9月18日(金)14:30～15:20
2. 場 所：北九州水素ステーション(北九州市八幡東区東田)
3. 主催者：福岡水素エネルギー戦略会議、福岡県、北九州市、新日本石油(株)、岩谷産業(株)、新日本製鐵(株)
4. 次 第：(1)主催者挨拶
 福岡県 麻生 渡 知事
 北九州市 北橋 健治 市長
 新日本石油(株) 松村 幾敏 代表取締役 副社長執行役員
 岩谷産業(株) 上羽 尚登 専務取締役
 新日本製鐵(株) 明賀 孝仁 執行役員 八幡製鐵所長
 (2)来賓挨拶
 九州経済産業局 橋高 公久 局長
 (3)テープカット
 (4)水素充填デモンストレーション